

教材教具名 野活見通し教材一式

教科 (生活単元学習)

情報提供者

教材教具写真

B スケジュール表

C 一週間前

D 当日活動内容表

A 施設内探検チェックポイント表



6月25日(金)

1	おはよう	08:30	おはよう
2	あそび	9:00	あそび
3	おやつ	10:00	おやつ
4	おはな	10:30	おはな
5	おはな	11:00	おはな
6	おはな	11:30	おはな
7	おはな	12:00	おはな



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

初めての場所では楽しい活動でも見通しがもてなくて楽しめなかったり、消極的になったり、さらにはパニックになったりする児童がいるため (自閉症児等)、時間や場所について見通しを持たせることが重要になってくる。活動に少しでも見通しを持ち参加できるように作った教材である。

2 発達段階など

生活単元なので、学年全体で行うが、主に絵や写真での認知があり、順番の概念が多少ある児童にとっては見通しが理解しやすい。

3 使い方

A 施設内探検を順番にしていきシールを貼っていく。どこに行くのかどの順番で行くのかの見通しがもてる。

B 野活日程スケジュール表 シールを終わった活動にシールを貼っていくとともに、次にある活動を意識させる。

C 野活が近づいていることが、毎日めくる日めくりカレンダーと連動して見通しが持ちやすい。

D 当日の活動を時間順に並べることで、何があるのか次に何をするのかのみ通しがもてる。

(尚、当日は表が大きくて貼る場所がなかったので、各居室のドアにB表を拡大して代用した。)

その他 電子データなので展示できないが、スケジュールを三滝の施設の写真上で各児童が動いて楽しんでいるFlash教材を授業の導入に毎回見せ、自分たちがそこに行くことをイメージさせ、見通しを持つことつなげた。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

自分がそこに行くんだ、そこで〇〇をするんだという見通しを先行視覚支援で行うには、ただ場所の写真を見せるだけではなく、自分がそこに行くというイメージをもたせることが必要である。そこで小5の自分たち本人 (顔付き) がその施設で活動している写真や映像が有効で有り、それを多用して、自分たちが行くイメージをもたせることができた。